



令和3年度 日本(世界)肝炎デー 啓発活動状況

実施機関名	実施期間	参加者	実施場所	実施内容	啓発資材内容、活用数等	実施後の感想等	活動状況
土谷総合病院		医師、看護師、薬剤師、栄養士、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、事務担当者(職場内の肝炎医療チーム)50人	外来、病棟	①ポスターの掲示 ②外来患者にリーフレットを配布 ③入院患者の給食にリーフレットを付けて配膳 ④肝疾患Coのモチベーションの為に、自作シールを作成し、マスクに貼付 ⑤コロナワクチン接種会場の待機場所に肝炎検査啓発動画を上映	・A3啓発ポスター2枚、A4啓発ポスター300枚 ・布マスク10枚、不織布マスク10枚、ボールペン10本(肝炎情報センター提供)	・特任Co連絡協議会でポスターを作成したことが良かった。 ・皆で協力してとても良いキャッチフレーズができた。 ・次年度も特任Coによる共同啓発活動に取り組みたい。	  
広島大学病院	7/26~7/30	消化器内科外来診察医(肝臓専門医)3名 医師事務作業補助者4名 肝疾患相談室の肝疾患Co2名(特任Co、総括Co) 病棟勤務の肝疾患Co2名(特任Co)	内科外来診察室(消化器内科診察室) 肝疾患相談室 消化器病棟	① 消化器代謝内科の診察室扉(8部屋)にA3啓発ポスター(特任連絡協議会・広島県共同製作、3者協定による製作)を掲示。 ② 消化器病棟のスタッフステーション内にA4啓発ポスター(特任連絡協議会・広島県共同製作、三者協定による製作)を掲示。 ③ 大学霞地区構成員宛に、肝炎デーの通知文を添え、A4サイズの啓発リーフレット(特任連絡協議会・広島県共同製作、三者協定による製作)を配布。 ④ 消化器内科外来診察医(肝臓専門医)、医師事務作業補助者、肝疾患相談室の肝疾患Coは、啓発グッズ(不織布、布マスク、ボールペン)を装着及び携帯し勤務。 ⑤ 肝疾患相談室に入室した相談者に対して、「気づかないうちに肝がん」リーフレットを用いて、肝炎に関する知識の提供及び受検勧奨を実施。 ⑥ 市民公開講座を企画運営し、広報活動を通して啓発活動を実施。	・県提供受検勧奨リーフレット(気が付かないうちに肝がん)10枚 ・A3啓発ポスター(特任連絡協議会・広島県共同製作)10枚 ・A3啓発ポスター(3者協定による製作)10枚 ・A4啓発リーフレット(特任連絡協議会・広島県共同製作)200枚 ・A4啓発リーフレット(3者協定による製作)200枚	・当初、院内の患者及び家族を対象とした受検勧奨の呼び込み活動を企画していたが、コロナ禍の情勢を鑑みて集客を期待するイベント活動は中止とした。そのため、今年度は、職員を対象とした啓発活動を実施し、次年度の肝炎デー企画に向けて、「世界肝炎デー」の知名度の向上及び肝炎に係る知識の醸成を目指した。 ・啓発ポスターの掲示については、医局会で合意を得たことから、肝臓専門医以外の医師へも肝炎デーを伝える機会となった。また、他部署のスタッフより「肝炎デー企画について知る機会となった」「8つの診察室にポスターが一斉に掲示されインパクトがあり、活動の見本となった」などの声が聞かれた。 ・病棟スタッフに向けポスターを掲示することで、特任肝疾患Coの活動を広報する機会になった。 ・啓発グッズを用いて勤務する中、外来診察医より、患者家族から肝炎デーや無料肝炎検査について数件の質問があったと報告があった。 ・肝疾患相談室では入室した相談者へ、啓発リーフレットを用いて肝炎受検勧奨など実施し、「肝炎検査の必要性を知り、周囲へ無料肝炎検査をアナウンスしてみます」という声が聞かれた。また、「肝炎がそんなに気をつけなくていい病気だと認識していなかった。家族にワクチン接種について伝えます」という声も聞かれた。 ・上記内容から、今年度は規模を縮小した啓発活動であったが、次年度の啓発活動につながる内容だったと評価できた。	   
中電病院	7/26~7/30	内科外来看護師1名 検診看護師6名 内視鏡看護師(特任Co)1名 肝臓専門医2名	内科外来 検診センター 内視鏡室 本社健康管理センター	・肝炎デーポスターを上記場所に掲示。 ・A4サイズのリーフレットを内科外来に設置し、自由に持ち帰れるようにした。 ・検診センターで、肝炎デー当日の受診者に、当院独自作成のチラシを入れたポケットティッシュとともに、1人1人に配布。 ・本社健康管理センターにA4サイズのリーフレットを設置し、健康管理センターの保健師に活用を依頼。肝炎デー当日は、マスクを検診部門の看護師が着用し、ボールペンはエコー担当検査技師が携帯。 ・肝臓専門医2名と内科外来の肝疾患Co、特任Coがボールペンを携帯。(マスク・ボールペンは、検診看護師が肝炎デー終了後も使用) ・三者協定との共同制作ポスターは、肝炎デー終了後に、ポスターの掲示、A4リーフレットを自由に持ち帰れるように設置。本社、健康管理センターにもポスターを配布し活用を依頼。	・肝炎デー啓発ポスター:A3:10枚、A4:50枚 ・サンチェ&スライリーポスターA3:5枚、A4:30枚	・マスクは不織布マスクの上に着用。目立つため良いアピールとなったとの意見あり、肝炎デー以降も着用したいとの声があった。 ・マスクやボールペンが肝炎デーとタイミングがあったことで、さらに活用できたと思う。 ・また、本社の健康管理センターの方へも情報提供し、資材の提供も行えたことで連携にも繋がった。 ・ポスターなど啓発資材の配布があると情報提供や活用がしやすい。 ・今回、ドック受診者へA4サイズのリーフレットを配布したが、配布にはやや大きすぎたように感じた。 ・ボールペン、マスクは好評であったが、マスクが毎日使用できないのが残念に感じたとの意見があった。	 

実施機関名	実施期間	参加者	実施場所	実施内容	啓発資料内容、活用数等	実施後の感想等	活動状況
呉医療センター	7/20~8/20	外来看護師	消化器内科外来	外来にて受検勧奨リーフレットを希望者に配布。	・県提供受検勧奨リーフレット(気が付かないうちに肝がん)に) 19 枚	使用枚数から考え、たくさんの方に持って帰っていただけたことは良かったと思う。	
東広島医療センター	7/14~7/30	医師1名 肝疾患Coナース1名 看護師長1名	病院玄関前	・「世界肝炎デー」ポスター(A3サイズ)を病棟・外来へ掲示。 ・外来患者に受検勧奨リーフレットを配布。検査の呼びかけを実施。 ・「世界肝炎デー」チラシ(A4サイズ)を外来患者へ配布。	・県提供受検勧奨リーフレット(気が付かないうちに肝がん)に) 20枚	肝炎について、関心を示し説明を受けたい患者へリーフレットに添って肝炎検査の必要性の説明を行った(20名に実施)。 「検査を受けてみようか」などの声があり、自宅から近い肝炎ウイルス検査を受ける医療機関の病院を伝えた。 次回は、ポスター展示を行い、肝炎のこと・栄養指導についてポスターを作成しパネル展示を行いたい。	 
広島西医療センター	7/21~	医師、薬剤師、 外来事務助手	外来待合室 外来掲示板	・待合室へリーフレット設置 ・外来掲示板にポスター掲示	・県提供受検勧奨リーフレット(気が付かないうちに肝がん)に) ・啓発ポスターA3 3枚 ・啓発チラシA4 30枚	外来診察室前や通路へのポスター掲示や待合室にリーフレットを設置し受検推奨を行ったが、コロナ禍において来院者への積極的な声掛けは出来なかった。	 
安佐市民病院	7/28~7/30	・リーフレット配布に協力得た外来担当 医師・内科、皮膚科 外来看護師 ・南6病棟看護師	配布:外来、皮膚科 科外来、南6病棟 (消化器内科) 掲示:11病棟、内科 科外来	・外来患者のファイルにリーフレットを入れ配布。 ・入院患者(肝臓がん患者以外40名)にリーフレットを配布。	・県提供受検勧奨リーフレット(気が付かないうちに肝がん)に) 200枚	・数名の患者から看護師に質問があり受検方法を説明した。 ・結果説明を理解できていない患者から相談され術前検査での結果を再度説明した。 ・理解されていない方も多い印象があり、啓発活動は続けていかなければいけないと思った。	 
広島市民病院		医師、薬剤師	院内外来	・啓発ポスターの掲示 ・ボールペンの配布 ・外来部門へのリーフレットの配置	・A3サイズポスター4枚 ・A4サイズポスター50枚	・良いインパクトを与えることができたポスターだったと思う。 ・特任Co連絡協議会で作成したポスターが良かった。また、良い活動機会となった。	
広島赤十字・原爆病院	7/26~8/1	消化器内科医師 6名 病棟看護師20名 外来看護師9名 管理栄養士 8名 医師事務作業補助員2名	病院内外来、消化器内科診察室、栄養指導室、消化器内科病棟、がん相談室	・当院オリジナルTシャツ『肝太くんTシャツ』を着用し、職員や患者、患者家族への啓蒙啓発 ・パンフレットやリーフレットを掲示・設置	・県提供受検勧奨リーフレット(気が付かないうちに肝がん)に) 50枚 ・肝炎情報センターマスク・ボールペン他 ・特任Co共同企画ポスター	皆で同じTシャツを着用することで、一体感が生まれ、いつもの制服と違い目立つため、たくさんの人に声をかけていただき、啓蒙・啓発につながった。さらにパンフレットやリーフレットなども手に取っていただけだと思います。	 

実施機関名	実施期間	参加者	実施場所	実施内容	啓発資材内容、活用数等	実施後の感想等	活動状況
福山市民病院	7/19~8/6	肝疾患相談室	肝疾患相談室 (正面玄関入口横)	<ul style="list-style-type: none"> ・相談室入口に「肝炎ウイルス検査を受けましょう」と「肝炎デー検査いつでも受けれるデー」のポスターを貼付し患者さんの視野に入るようにアピールし、啓発活動を実施。 ・コロナ禍で院内ポスターや配布物を全て撤去等の指示が続いている現状にあり、患者さんへの手渡しなど禁止されているため、院内の掲示板数か所にポスター貼付。 ・当院は拠点病院であるため、「世界肝炎デー」ポスターの周知について(依頼)として以下の医療機関にポスターとリーフレットを送付し共有した。 ・広島県肝疾患診療支援ネットワーク専門医療機関 7医療機関 ・福山・府中肝炎治療専門医療機関 30医療機関 ・保健所 4施設 ・市役所(本庁) 	<ul style="list-style-type: none"> ・県提供受検勧奨リーフレット(気が付かないうちに肝がん): 50枚 	<ul style="list-style-type: none"> 「肝炎デー検査いつでも受けれるデー」のポスターを院内数か所の掲示板に添付したが、ポスターはとてよく目立って良かったと思う。近隣の医療機関約40か所に送付したことは拠点病院としての啓発活動に繋がったのではないと思われる。 	
マツダ病院	7/26~7/30	肝臓専門医2名 肝疾患Co14名 (看護師10名、臨床検査技師2名、薬剤師1名、理学療法士1名)	<ul style="list-style-type: none"> ・外来棟: 玄関フロア、検査室前、各科待合室 ・入院棟: 各病床フロア 	<ul style="list-style-type: none"> ・外来患者及び付き添い家族にリーフレットを配布し受検を呼びかけ。 ・入院棟患者(未受検者)にリーフレットを配布し受検を呼びかけ。 ・肝臓コーナーや各フロア掲示板にポスターを掲示しアピールを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県提供受検勧奨リーフレット(気が付かないうちに肝がん): 100枚 ・特任Co共同企画ポスター: 12枚 配布用A4: 10枚 ・肝炎情報センター作成啓発資材(ポールペン): 22本 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防対策のため限られた中で活動したが、啓発活動に対する意識は上がったと感じた。 ・時間帯または場所により、チラシ配布重視あるいは丁寧な説明など、アプローチ方法を変えて活動した。 ・肝炎についてよく知らない方には、リーフレットを利用して説明すると分かりやすかった。 	
尾道市御調保健福祉センター	7/2~	保健師	<ul style="list-style-type: none"> ・御調保健福祉センター 窓口センター ・公立みつぎ総合病院 人間ドック 	<ul style="list-style-type: none"> ・センター来所者へ配布し、受検を呼びかけ。 ・人間ドック利用者へ受検を呼びかけ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県提供受検勧奨リーフレット 窓口30枚、人間ドック20枚 	<ul style="list-style-type: none"> 自身が肝炎検査を受けたことがあるかないかさえ分からない人が多い中、肝炎や肝がんについて目を向けていただけるきっかけとなったように思う。 	